

笑顔ひろがる 豊かなくらし
食の安全 子どもの未来 地球環境 守りたい

特集 冬の省エネチャレンジ!……P4



コープの化粧品『ソフトケア』の原料産地を見学しました

9月1・2日(土・日)、宮城県で「ソフトケア」産地研修が行われ、商品活動委員会「エプロン」の委員5人が参加しました。「ソフトケア」は、コープ化粧品として23年間愛され続けている、へちま水を使った自然派スキンケアシリーズです。主原料のへちまがどのようにして育てられているのかを、実際に自分たちの目で見て、生産者の方にお話を聞きました。

大自然の中で、除草剤一切なしで育てています

「国の減反政策に伴う転作商品としてへちまを売り出したい」という農協の思いと、「安全・安心・産直」という生協の思いと、サンスター株式会社の「新しいラインナップ開発」の思いが結集して生まれた「ソフトケア」。構想から約30年のベストセラー商品(1989年販売開始)です。主原料のへちま水は、宮城県栗原市一迫(いちはさま)地区で栽培されているへちまから採液しています。一迫地区は日本有数の穀倉地帯で、土と空気と水に恵まれた地方です。この豊かな自然の中で28軒の契約農家によって、除草剤を一切使うことなく丹精こめて育てられています。



生産者より

組合員さんにお会いすると元気がでます。へちまを育てて23年になりますが1年1年新人の気持ちでつくっています。多いときには100tあったへちま水の契約数量も今では40tに減ってきています。年齢を理由にやめていく仲間も多い中、組合員さんにはへちまの良さを知ってもらい、たくさん利用していただければと思います。

へちま水を採取/



へちま畑では、採液するには、茎を根元から60センチほど残して切って、そこから先は全く利用しないこと、地這いでへちまを作っているが、除草剤を使わないために雑草を刈る作業が大変なことなどを学びました。また、株ごとにへちま水の吸いあげ方に大きな差があること、天候により採液状況も大きく変わること、夏の暑い中の作業がとても大変なことがわかりました。



産地見学スケジュール

9月1日(土)

●ソフトケア商品学習会



●「へちま水」採液用袋取り付け



●へちま化粧水手作り体験

化粧水を手作りしました

9月2日(日)

●へちま水処理加工工場見学

●「へちま水」採液作業

一晩でこんなに溜まりました



「生産者」と「生産者を支える組合員」の大切な関係

生産者の誠実な原料採取・作物栽培、ご苦労にふれる中、組合員の商品利用で支えることの大切さも感じた産地研修でした。食品の産地・工場見学はよくありますが、化粧品など雑貨の原材料の産地見学はめずらしく、商品活動委員会としても貴重な経験となりました。

お肌もところもうるおしてくれる…



実際、畑にてへちまの茎を切った瞬間に滴り落ちるへちま水とそのうるおいに、驚きと感動がありました。へちま水には、栗駒山系の豊富な水に含まれるミネラル成分が凝縮されています。スキンローションは水も加えずに、へちま水が85%も入っていることを知り、原料から商品化まで安全・安心な商品づくりをしていることを実感しました。



ソフトケアシリーズは、12月4回のくらしのパートナーでご案内いたします。

ぜひおためしあれ!



<http://www.yodogawa.coop/>

よどがわ生協 検索

今月の生協さん 第2支所



高槻地域・営業担当 東元治 (ひがしもとじ)

最近時の流れが早くて…。出会いを大切にしています。